

◇お知らせ◇

令和4年度 膵臓病研究奨励賞受賞者決定

公益財団法人 日本膵臓病研究財

令和4年度膵臓病研究奨励賞の受賞者は、下記の14名の研究者に決まりました。

記

1. 池田未緒(東北大学病院消化器内科)

研究課題:膵炎原因遺伝子変異は膵発癌を促進するか

2. 吉田道弘(名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学)

研究課題:膵神経内分泌腫瘍における新規分子標的治療の開拓:オートタキシンは治療ターゲットとなるか?

3. 脇屋太一(弘前大学医学部附属病院消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科)

研究課題:デジタル空間プロファイリングによる膵癌微小環境の代謝免疫相互関係の解明

4. 関根匡成(自治医科大学付属さいたま医療センター)

研究課題:早期慢性膵炎を含む膵炎症に関連する因子とEUS所見の病理学的意義の解明

5. 赤穂宗一郎(岡山大学病院)

研究課題:交感神経制御による肥満起因性膵癌の発生抑制

6. 大垣隆一(大阪大学大学院 医学系研究科)

研究課題:がん細胞型アミノ酸トランスポーターLAT1のエクソソームにおける発現:新規膵臓がんバイオマーカーとしての潜在的価値

7. 陳 好(国立がん研究センター研究所 基礎腫瘍学ユニット)

研究課題:PHLDA3機能喪失を伴った非機能性膵神経内分泌腫瘍の悪性化・転移機序の解明及び新規治療法の開発

8. 高橋裕之(旭川医科大学外科学分野肝胆膵・移植外科学分野)

研究課題:全膵のゲノム異常解析による膵癌術後再発の監視

9. 渡部純(自治医科大学消化器一般移植外科)

研究課題:膵癌のオステオペニアと癌悪性化メカニズムの解明

10. 伊藤泰斗(東北大学大学院医学系研究科病態病理学分野)

研究課題:膵上皮内癌、小膵癌の分子進化機序解明

11. 及能大輔(札幌医科大学病理学第二講座)

研究課題:タイト結合分子により促進される膵癌の進展機序の解明

12. 藤森尚(九州大学病院 肝臓・膵臓・胆道内科)

研究課題:膵癌患者由来オルガノイドを用いた新たなサブタイプ分類と臨床応用

13. 大山広(千葉大学医学部附属病院)

研究課題:膵癌患者由来検体を用いたゲノム・トランスクリプトーム解析に基づく膵癌早期診断法の確立

14. 小泉光仁(愛媛大学大学院医学系研究科消化器・内分泌・代謝内科学)

研究課題: Protein Kinase R 高発現が調節する膵がん進展機序の解明

|